

会 議 録

会 議 名	山陽小野田市新火葬場建設基本計画検討委員会会議（第2回）
開 催 日 時	平成26年11月13日(木) 午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出 席 者	鳩心治氏、原田頼邦氏、岡本志俊氏、岡部つや子氏、 前田良一氏、佐々木雅史氏、塩田賢二氏、森岡一良氏 以上8名
欠 席 者	なし
事務担当課 及び コンサルタント業者	市民生活部環境課生活衛生係 川上部長、佐久間部次長、渡邊主幹、木村主査、中川主事 E I C 芦田
会 議 次 第	1 議題 (1) 新火葬場建設基本計画（案）について (2) 次回の予定について 2 その他
会 議 結 果	1 議題 (1) 新火葬場建設基本計画（案）について 環境課が前回配布した基本計画（案）の修正箇所をP49図5-6まで説明。 主な質疑応答は次のとおり。 委員長：敷地の「拡幅」という文言の使い方は適当か。拡張や拡大等、今後は都市計画決定を伴うので統一した方がよい。確認をお願いしておく。 環境課が、基本計画（案）の後半部分の修正箇所を説明。 主な質疑応答は次のとおり。 委員：P80の敷地造成工事費が195,656千円、P81では196,656千円となっている。195,656千円への修正をお願いする。

	<p>委員：進入道について、幅員 7 m とあるがこれに歩道はつづ のか。</p> <p>また、旧楠方面から来る道には右折レーンが必要では。有 帆地区も旧楠側から来て右折することになる。</p> <p>環境課：片歩道は必要だと思っている。火葬を待つ間に、会 葬者が通るかもしれないので。</p> <p>右折レーンについては、現時点では考えていない。</p> <p>委員長：右折レーンについては、交通量が関係してくるので 確認するように。</p> <p>片歩道は検討すべきである。</p> <p>委員：駐車場必要面積について、小野田斎場および山陽斎場 の利用者数等の現状を調査したか。</p> <p>E I C：現地で調査はしている。</p> <p>環境課：1 件の葬儀で平均 25 人の会葬者、5 台の乗用車が 来ることを想定している。</p> <p>1 件の葬儀で乗用車が 5 台来て、5 件の葬儀があった場合 の 25 台分のスペースを確保する。また、マイクロバス用 のスペースも確保する。</p> <p>委員：全体の敷地面積について、P 64 で 8,368 m² 必要 で、予定では 10,530 m²、トータル 14,397 m² とあるが、8,363 m² とは、P 65 のどの部分を火葬場とするのか。</p> <p>環境課：都市計画決定上の火葬場としては約 14,000 m² とする 予定。</p> <p>県道右側の四角い部分、建物周辺の木、進入道周辺の使え る緑地は残す計画で、それを除いた約 8,500 m² が実際に使 用する面積となる。</p> <p>緑地は緩衝緑地という意味も含めて全体面積に算入し、都 市計画決定するように、市都市計画課に依頼している。</p> <p>委員長：その考えでよいと思う。騒音や匂いの問題もあるので、 周辺緑地を含めた火葬場の申請でよいと思う。</p> <p>委員：火葬設備において、発注の仕方は。建築工事と火葬設</p>
--	---

	<p>備の分離発注等、色々な方法があると思うが。</p> <p>委員長：最新の火葬炉を前提として、計算していると思うが、それによりメーカーが絞られてしまうのでは。</p> <p>前提条件と発注方式がフリーになっておかないといけないのでは。</p> <p>E I C：火葬炉設備は法的な縛りがなく、新設できるメーカーは5社あるが、それぞれ大きさが全く違うので、特定のメーカーが入ってこれる空間を作るのは難しい。</p> <p>一番大きな面積を必要とする炉メーカーの空間を考慮しておかないといけない。</p> <p>自社としては、炉設備の仕様書を作るまでの業務を任されており、その後、市がプロポーザルか入札で業者を決めると思うが、実際には入札は難しいと思う。</p> <p>仕様書を作るとなると、どうしてもあるメーカーの特徴が入ってしまうので、評価基準を作って委員会等でこの基準に対応できるメーカーを選定する。</p> <p>炉メーカーによって大きさが異なるので、炉メーカーを先に決定しないと、建築面積に影響が出る。</p> <p>委員：できるだけ、地元業者を考慮してもらいたい。</p> <p>委員長：P 9 1の事業方式について、設計・施工を一括してできるところにすると、業者が絞られてしまうので、分離発注すれば、地元にも業者はたくさんある。</p> <p>メリットとしての地域貢献というのが、評価項目の中にあってもよいのでは。</p> <p>以前、新病院の建設評価において、プロポーザルではあったが、地域貢献度の評価項目を1つ作った。</p> <p>環境課：地元貢献のため、一括発注、分離発注等の目安になる項目が必要ということか。</p> <p>E I C：地域貢献は考慮しないといけない。できるだけ市内の業者を何らかの形でと考えているが、斎場は特殊な施設なので、経験が必要となる。このような中で、どれだけ地元業者が入れるかは難しい面もある。</p>
--	--

委員：斎場の外にトイレはあるか。

E I C：最近の斎場には外にトイレがある所はない。あくまで会葬者への対応ということと、防犯面の問題がある。

委員長：確認を事務局でしていただく。

副委員長：斎場敷地は、狭いような気がする。もう少しスペースが取れないのか。

季節の花を見ながら故人を送ってやりたい。花をつける木を植えた庭園があれば散策もできる。

環境課：P 6 9 の建物の後の四角い赤い線のところは、現在、用地交渉中だが、全体を後ろへ下げたいという考えはある。

そうすると、ロータリーと庭園にかなり余裕がでる。

委員長：庭園の空間的な意味を計画するという文言を入れると、実施設計の時に評価できると思う。

E I C：植栽計画はこれから検討していく。

(2)今後の予定について

第3回目の日程について調整

2 その他

環境課：基本計画（案）の中で、体制に影響がでない部分については、適宜、事務局において修正してよいか。

環境課：地元貢献については、十分に考慮して計画していく。